

## ごみの減量等に関するアンケート

◎ご回答いただく際には、この用紙をそのままお使いください。該当する番号等に○をつけていただき、文章をご記入いただく場合は、できるだけ具体的な内容をお願いいたします。  
ご返送いただく際には、同封の返信用封筒（切手は不要です。）をお使いください。

※ アンケートのご回答に要する時間は3分程度を見込んでいます。

問1. 貴事業所はどの産業に該当しますか。(○は1つ)

- |                    |           |              |
|--------------------|-----------|--------------|
| 1. 建設業             | 2. 製造業    | 3. 電気・ガス・水道業 |
| 4. 運輸業             | 5. 通信業    | 6. 卸売業       |
| 7. 小売業             | 8. 飲食業    | 9. 不動産業、賃貸業  |
| 10. 金融・保険          | 11. サービス業 | 12. 医療・福祉    |
| 13. その他（具体的に.....） |           |              |

問2. 貴事業所の形態は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

- |                    |              |              |
|--------------------|--------------|--------------|
| 1. 店舗              | 2. 飲食店       | 3. 事務所・営業所   |
| 4. 工場・整備等作業所       | 5. 倉庫・配送センター | 6. ホテル・旅館    |
| 7. 病院              | 8. 会館・娯楽施設   | 9. デパート・スーパー |
| 10. コンビニエンスストア     | 11. 美容院・理容店  |              |
| 12. その他（具体的に.....） |              |              |

問3. 貴事業所の従業員は何人ですか。(○は1つ)

- |            |            |              |
|------------|------------|--------------|
| 1. 5人未満    | 2. 5人～9人   | 3. 10人～29人   |
| 4. 30人～49人 | 5. 50人～99人 | 6. 100人～299人 |
| 7. 300人以上  |            |              |

問4. 貴事業所は、経営者や従業員の住居を兼ねていますか。(○は1つ)

1. 兼ねている
2. 兼ねていない ⇒ 問6へお進みください

問5. 問4で「1. 兼ねている」とお答えの方にお尋ねします。住居を兼ねている場合、事業系ごみと家庭系ごみに分けて排出していますか。(○は1つ)

1. 事業系と家庭系に分けて排出している
2. 分けずに事業系として一緒に排出している
3. 分けずに家庭系として一緒に排出している

問6. 貴事業所で、排出量の多いごみは何ですか。(重量を把握していない場合は推測で構いません) (〇は3つまで)

- |                     |           |             |
|---------------------|-----------|-------------|
| 1. 生ごみ              | 2. ゴム・皮革類 | 3. プラスチック製品 |
| 4. 発泡スチロール          | 5. 新聞紙・雑誌 | 6. コピー用紙    |
| 7. シュレッダー紙          | 8. 段ボール   | 9. ペットボトル   |
| 10. 缶               | 11. びん    | 12. 古布類     |
| 13. 紙おむつ            | 14. 不燃ごみ  | 15. 粗大ごみ    |
| 16. その他 (具体的に.....) |           |             |

問7. 貴事業所では、ごみの収集を一般廃棄物処理業者に委託していますか。(〇は1つ)

1. 委託している (⇒ 問8をお答えください)
2. 委託していない (⇒ 問9をお答えください)
3. その他 (具体的に.....)

問8. 問7で「1. 委託している」とお答えの方にお尋ねします。契約の形態は次のうちどれにあたりますか。(〇は1つ)

1. 従量制 (排出する量に応じて金額が変動)
2. 定額制 (月額または年額固定制など)
3. その他 (具体的に.....)

問9. 問7で「2. 委託していない」とお答えの方にお尋ねします。ごみをどのように処理していますか。(〇は1つ)

1. 親会社や関連会社が処理している
2. 市のごみ処理施設まで直接運んでいる
3. 地域のごみステーションに出している
4. その他 (具体的に.....)

問10. 貴事業所では、燃やすごみを出すにあたって、どのように出していますか。(〇は1つ)

1. すべて市販のごみ袋 (無地の袋や家庭用の指定ごみ袋) に入れて出している
2. すべて収集業者が指定するごみ袋に入れて出している
3. ごみ袋に入れているが、一部は段ボール箱等に入れて出している
4. ごみ袋には入れず、段ボール箱やレジ袋等に入れて出している
5. その他 (具体的に.....)

問 1 1. 貴事業所では、ごみ焼却処理費やリサイクル費等のごみ処理経費として、1 カ月平均どれくらいかかっていますか。(○は 1 つ)

1. 5 千円まで
2. 5 千円以上～1 万円未満
3. 1 万円以上～2 万円未満
4. 2 万円以上～3 万円未満
5. 3 万円以上～5 万円未満
6. 5 万円以上～1 0 万円未満
7. 1 0 万円以上～5 0 万円未満
8. 5 0 万円以上

問 1 2. 高砂市内に 2 市 2 町（加古川市、高砂市、稲美町、播磨町）で運営する施設「エコクリーンピアはりま」が建設されていることを知っていますか。(○は 1 つ)

※ 令和 3 年 1 1 月から試運転を開始し、令和 4 年 4 月から本格稼働します。

1. 知っている
2. 知らなかった

問 1 3. ごみを自己搬入する場合は、令和 4 年 2 月 1 日からエコクリーンピアはりまへ持ち込む必要があることを知っていますか。(○は 1 つ)

※ 資源物のうち、紙類は加古川市資源化センター、剪定枝・草は加古川市リサイクルセンターへ引き続き搬入してください。

1. 知っている
2. 知らなかった

問 1 4. 貴事業所のごみ排出量を把握されていますか (○は 1 つ)

1. 全て把握している
2. 一部は把握している
3. 把握していない

問 1 5. 貴事業所は、日頃からごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。(○は 1 つ)

1. 積極的に取り組んでいる
2. ある程度取り組んでいる
3. あまり取り組んでいない
4. 取り組んでいないが、今後は検討したい
5. 取り組んでいないが、今後もし取り組むつもりはない

問 16. 問 15 で 1 ~ 2 を選択された方にお尋ねします。現在どのような取り組みを行っていますか。 (複数回答可)

1. ごみ減量に取り組む専門部署や管理責任者を設置し、ごみの減量やリサイクルに取り組んでいる。
2. ごみ減量のための従業員マニュアルを作成、配布している。
3. ごみ減量に取り組むため、従業員による検討委員会等を設置している。
4. 社員の机やフロアに古紙回収箱を置き、リサイクルしている。
5. 資源物の分別やコピー用紙使用の抑制等のポスターや注意書きを貼っている。
6. 紙の使用量の節約、ミスコピー紙の裏面のメモ利用などを呼びかけている。
7. 従業員の集まる会議等でごみ減量を呼びかけている。
8. 周辺の事業所と共同で古紙をリサイクルしている。
9. 納入業者に包装の簡素化や通い箱の使用を依頼している。
10. 事業所内に生ごみ処理機等を設置している。
11. その他 (具体的に.....)

問 17. 問 15 で 3 ~ 5 を選択された方にお尋ねします。取り組みを行うにあたり、どのような問題や課題がありますか。 (複数回答可)

1. 取り組む意義がわからない
2. 方法がわからない
3. 経済的メリットが少ない
4. 手間がかかる
5. 分別した資源の保管場所がない
6. リサイクルするほどのごみ量がない
7. 適当な回収業者が見当たらない
8. その他 (具体的に.....)

問 18. 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物をどのように処理していますか。

品目ごとに該当するものに○をつけてください。(各品目ごとに○はひとつ)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	収集許可業者に燃えるごみとして出している	収集許可業者に資源として出している	リサイクル業者に資源化を依頼している	企業内・企業グループ内でリサイクルしている	納入業者や販売業者が引き取っている	市のごみ処理施設に自己搬入している	市の資源化センターや剪定枝置場に自己搬入している	民間の無料の回収ボックスに搬入している	燃えるごみとして地域のごみステーションに出している	資源として地域のごみステーションまたは地域で実施している	発生しない
新聞・チラシ											
雑誌											
OA用紙・コピー用紙											
機密文書											
段ボール											
雑がみ(メモ、封筒など)											
生ごみ・厨芥ごみ											
売れ残りの廃棄食品											
発泡スチロール											
廃プラスチック類											
ペットボトル											
缶・びん											
剪定枝											

問 19. 事業所から排出される燃やすごみを減少させるためには、どのような取り組みが効果的だと考えますか。(複数回答可)

1. 新聞、雑誌、OA用紙等の資源化が可能な紙類は、燃やすごみとして排出しない
2. 機密文書を焼却処理することなく、機密保持ができるリサイクル業者に委託するなど、機密文書の資源化を図る
3. 弁当の食べ残しや調理くず等の減量化を図る
4. 生ごみは、水切りの徹底や電動式生ごみ処理機で減量してからごみとして排出する
5. 処理業者(リサイクル業者)に委託して、生ごみの資源化を図る
6. 特にない
7. その他(具体的に.....)

問20. 資源化センター（平荘町上原・クリーンセンターの隣）で、紙類の無料引き取りを、行  
っていますが、知っていますか？（○は1つ）

1. 知っていて、利用している。
2. 知っているが、利用はない。
3. 知らない

問21. 資源化センターで、月に一度、機密文書の受入を行っていますが、知っていますか？（○  
は1つ）

1. 知っていて、利用している。
2. 知っているが、利用はない。
3. 知らない

問22. 貴事業所では、ごみの減量やリサイクルを進めるうえでの課題は何ですか。

（複数回答可）

1. 資源物の保管場所がない
2. 資源ごみを分別しても適当な回収業者が見当たらない
3. 従業員に分別の徹底を指導することが難しい
4. 分別するのに手間や費用がかかる
5. 機密文書が多いため、リサイクルが難しい
6. ペーパーレス化や無駄なコピーの抑制・裏面利用を徹底できない
7. 生ごみをリサイクル業者に委託するのに経費がかかる
8. 適当な生ごみリサイクル業者が見当たらない
9. 食品の売れ残り等を減らすための販売管理の徹底が難しい
10. ごみを減らしても、ごみ処理料金が安くなるほどの経済的メリットを得られない
11. 資源化可能な紙ごみでも、燃えるごみとして出せば、収集運搬業者が収集してくれる  
ので、分別が進まない
12. その他（具体的に.....）

問 2 3. 今後、ごみ減量やリサイクルに取り組むために、行政側がどのような施策・取り組みを行うことが必要だと思いますか。 (複数回答可)

1. ごみ処理業者やリサイクル業者に関する情報提供の充実
2. 他の事業所で行われているリサイクルの事例など先進事例の紹介
3. ごみ減量やリサイクルの方法を示したマニュアルの配布
4. 近隣事業者が協働して資源化に取り組む、オフィス町内会等の組織の育成
5. 優良事業者を表彰する制度
6. 紙類を回収するためのボックスの設置
7. 加古川市資源化センター利用促進のための取り組み (機密文書の適正処理等)
8. 事業者と行政が意見交換できる場の提供
9. 事業者に対する指導や監視体制の強化
10. 資源化できる紙類の焼却施設への搬入停止
11. その他 (具体的に.....)

